教育研究業績書

2026年11月06日

所属： 教育総合研究所　　資格： 教授　　氏名： 中井　昭夫

研究分野	研究内容のキーワード
発達行動小児科科学，小児精神神経科学、臨床発達心理学	神経発達症，小児精神症，子どものこころ
学位	最終学歴
医学博士	福井医科大学大学院博士課程　修了

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.臨床発達心理士受験資格シラバス認定	2024年6月	臨床発達心理士受験資格シラバス認定に関わる作業を行い、一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構より指定科目単位認定大学院に認定された。 https://www.jocdp.jp/license/accredited-graduate-program/
2.オンライン・オープンキャンパスの発案・企画・実践	2020年7月5日	新型コロナウイルス感染症の影響の中、大学院 臨床教育学研究科初のZoomによるオンライン・オープンキャンパスを発案・企画・実践した。 https://cutt.ly/Oo7d3Vg
3.Light It Up Blue MUKOJO! 2020～武庫女を青く照らそう！～	2020年4月	昨年度の学院80周年記念事業公募型採択行事に引き続き、今年度は特別研究により、４月２日の世界自閉症啓発デーと引き続く発達障害啓発週間の間、研究所棟をブルーライトアップした。ただし、４月１８日開催予定であった市民公開講座はCOVID-19により延期とし、2021年3月28日にzoomによるオンラインによる開催とした。
4.武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科・教育研究所「保育士・幼稚園教諭・子育て支援者のためのレベルアップ勉強会」	2019年7月27日	担当委員として企画・開催するとともに、「睡眠から子どもの発達を考える～子どもの睡眠の問題と発達障害～」と題して講演を行った。
5.教育研究所 子ども発達科学研究センター「『子どもの発達』を学ぶ会」	2019年7月13日	「自閉症スペクトラム障害はリズム障害である～睡眠から考える神経発達障害～」其の二
6.2019年度 大学院臨床教育学研究科オープンキャンパス	2019年7月07日	大学院臨床教育学研究科オープンキャンパスを担当委員として企画・開催するとともに、体験授業「身体性から発達障害を捉え直す～発達障害の理解と支援のブレイクスルー～」を行った。
7.教育研究所 子ども発達科学研究センター「『子どもの発達』を学ぶ会」	2019年6月15日	「自閉症スペクトラム障害はリズム障害である～すいみんから考える神経発達障害～」其の一
8.武庫川学院創立80周年記念事業公募型採択記念行事　Light It Up Blue MUKOJO！～武庫女を青く照らそう！～	2019年4月2日～2019年4月27日	国連の定めた世界自閉症啓発デーと、それに続く発達障害啓発週間の間、MM館前のもみの木と教育研究所棟を青くライトアップ、4月27日には市民公開講座「発達障害の世界を感じてみよう！」で講演を行った。
9.特別学期「眠育（睡眠教育）のススメ －子どもの睡眠の問題と発達との関係の理解と対応－」	2019年	特に子どもの発達における睡眠の重要性について、また、深刻な問題となっているICT依存に関する最新の研究成果を紹介し、受講者自身のメンタルヘルスなどへの意識改革を行うとともに、ワークショップ形式を採用し、実際の臨床例での睡眠表の読み解き方に関する知識と介入に関するスキルを身につけ、将来の対人援助の実践に寄与する。
10.2018年度 大学院臨床教育学研究科オープンキャンパス	2018年12月23日	大学院臨床教育学研究科初のオープンキャンパスにて体験授業「カラダからみたココロの発達～発達障害支援のパラダイムシフトを目指して～」を行った。
11.学院創立80周年記念事業　公募型記念行事（第1次）に採択	2018年11月	学院創立80周年記念事業　公募型記念行事（第1次）に採択された。
12.教育研究所子ども発達科学研究センター「『子どもの発達』を学ぶ会」	2018年09月1日	クウ・ネル・アソブ～カラダからみた子どものココロの発達～
13.武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科「保育士のためのレベルアップ勉強会」	2018年07月28日	「子どもの睡眠の問題への理解と対応～発達障害との関わり～」と題して講演を行った。
14.「サービス・ラーニング」の提案	2018年	新任教員研修において「サービス・ラーニング（教育活動の一環として、一定の期間、地域のニーズ等を踏

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
		まえた社会奉仕活動を体験することによって、それまで知識として学んできたことを実際のサービス体験に活かし、また実際のサービス体験から自分の学問的取組や進路について新たな視野を得る教育プログラム）の導入」としてのLight It UP Blue MWUを提案した。
15.共通教育科目「大学 学び発見ゼミ」「こころの始まりとしての赤ちゃん」	2018年	アクティブ・ラーニング、ディベート、ビジュアル教材の利用などインタラクティブな手法を用いて、命の教育、こころの発達の理解、最新の研究結果をリテラシーもって吟味する力などを育む。さらに受講者から武庫川女子大学の教育についてへの提言などを行なっている。
16.連合小児発達学研究科	2012年～2014年	連合小児発達学研究科福井校「こころの形成発達科学講座」において、遠隔講義システムによるリアルタイム講義、E-ラーニングコンテンツを用いて、教師、心理士、看護師、保健師、セラピストなど社会人大学院生を対象に教育を行なった。
17.連合小児発達学研究科雑誌「子どものこころと脳の発達」編集委員	2009年	連合小児発達学研究科の雑誌の編集委員を務めた。
18.対人支援職養成課程でのインタラクティブ講義	2002年～現在	複数の大学における、養護教諭・特別支援教育教諭、保育士・幼稚園教諭などの養成課程での非常勤講師を担当。動画や実際の症例、ディベートなどインタラクティブな講義を行なっている
2 作成した教科書、教材		
1.新 講座・臨床発達心理学シリーズ	2026年（印刷中）	中井昭夫　第７章　医学的情報とその利用 ミネルヴァ書房
2.Crosslink basic リハビリテーションテキスト 小児科学	2025年	中井昭夫　発達性協調運動症（DmCD） pp185～88 根津敦夫、横山美佐子（編）メジカルビュー社
3.子どもの睡眠と脳の発達～小児編～	2022年	武庫川女子大学
4.Q&Aシリーズ『発達障害「LD、発達性協調運動障害、チック障害編」』	2021年	お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション開発研究機構 pp.20-27
5.子どもの睡眠と脳の発達～乳幼児編～	2021年	武庫川女子大学
6.長崎大学「子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム」	2020年	長崎県内外の発達障害等への医療・特別支援教育　双方の視点を踏まえた高度の支援スキルを持つ人材育成を目的としたオンライン上で受講できるEラーニング講義による1年間の履修証明プログラム。「子どもの睡眠障害と発達障害について」担当
7.発達性協調運動障害（DCD）の理解と支援　全２巻（丸善出版）	2019年	発達性協調運動障害（DCD）に関する映像教材（DVD)全２巻の監修 日本視聴覚協会主催 2021年度「優秀映像教材選奨」において最優秀作品賞（文部科学大臣賞）を受賞
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.第2回　日本臨床発達心理士会兵庫県支部研修会	2025年11月23日オンライン	DCD（発達性協調運動症）の基本的理解とサポート～気づかれているのに、理解されない神経発達症～
2.認定NPO法人エッジ『発達障害のこどもを理解する講座』	2025年11月オンライン	第8章　身体性からの神経発達症へのアプローチ
3.兵庫県立総合教育センター令和７年度 高等学校 中堅教諭等資質向上研修	2025年8月オンデマンド	神経発達症の理解と支援のブレークスルーを目指して
4.LIUB MUKOJO! 2025市民公開シンポジウム「分かってほしい！話したくても話せない」	2025年3月23日	子どもの場面緘黙の基本的な理解について
5.認定特定非営利活動法人 エッジ『LSA（学習支援員）養成講座』	2024年10月6日	DCD（発達性協調運動症）～脳科学から子どもの不器用さを理解し、サポートする～
6.兵庫県立三木東高等学校　特別支援教育に関する校内研修会	2024年10月	DCDって何？～不器用な子どもを脳科学から理解しサポートする～
7.昭和大学歯学部口腔衛生学講座勉強会・学士会後援セミナー	2024年9月19日	DCD（発達性協調運動症）の基本的な理解とサポート～協調からみた神経発達症へのアプローチ～

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
8.兵庫県立教育研修所「高等学校中堅教諭等資質向上研修」	2024年8月1日2024年8月31日	今求められる、神経発達障害のトランジション・リエゾン支援
9.京都府臨床心理士会研修会　子育て支援部局研修会	2024年6月30日	神経発達症への身体性からのアプローチ～キーワードはDCD～
10.LIUB MUKOJO!市民公開講座「DCD ～見えているのに理 解されない神経発達障害～」	2024年3月30日	不器用なのは身体？脳？～脳科学からDCDのある子ども を理解し支援する～
11.臨床教育シンポジウム「運動からみた神経発達障害～赤ちゃんから大人まで～」	2023年11月18日	基調講演「今、改めて運動を発達の中心に位置づけ直す意義」
12.武庫川女子大学鳴松会提供教養講座	2023年10月15日	脳の、脳による、脳のための睡眠
13.認定特定非営利活動法人 エッジ『LSA（学習支援員）養成講座』	2023年10月14日	DCD（発達性協調運動障害）～脳科学から子どもの不器用さを理解し、サポートする～
14.一般社団法人日本臨床発達心理士会第19回大会	2023年8月26日2023年9月17日	企画シンポジウム２「不登校の影に潜む子どもの睡眠障害とICT依存：医学・脳科学からのアプローチ」
15.兵庫県立教育研修所「高等学校中堅教諭等資質向上研修」	2023年8月1日2023年8月30日	今求められる、神経発達障害のトランジション・リエゾン支援
16.瀬川記念小児神経学クリニック　瀬川塾学術講演会	2023年7月15日	今、改めて身体性から神経発達障害を捉え直す～キーワードはDCD(発達性協調運動障害）～
17.武庫川女子大学教育研究所学術講演会	2023年6月17日	「身体性からみた神経発達障害～脳科学から困りごとを理解し、支援する～」 協調からみた神経発達障害
18.「Light It Up Blue MUKOJO! 2023～武庫女を青く照らそう！～」市民公開講座	2023年3月25日	「限局性学習障害・発達性ディスレクシアの理解と支援」 中井昭夫「限局性学習障害・発達性ディスレクシアの基本的な理解」
19.臨床発達心理士認定運営機構　2022年度 第2回SV資格更新研修会	2023年2月23日	「医療における発達支援のスーパービジョン」
20.香川大学教育学部附属特別支援学校 公開研究会ー不器用な子どもたちの理解と支援 ―」	2023年2月23日	脳科学からDCDの子どもの困難さを理解し支援する
21.京都府発達障害者支援センターはばたき「令和４年度 発達障害に関する専門職研修」	2023年2月5日	「いま、なぜ、改めて、ＤＣＤ（発達性協調運動障害）なのか？～身体性からみた神経発達障害～」
22.第１回子どものメンタルケア研究会学術講演会	2022年11月20日	「身体性から神経発達障害を捉え直す　～DCDという視点～」
23.認定NPO法人EDGE主催　LSA（学習支援員）養成講座2022	2022年10月30日	「ちゃんと知りたい！DCD（発達性協調運動障害）って何？不器用な子どもの理解と支援について～」
24.大阪市西区障がい者・児ネットワーク「そよかぜ」、大阪市西区社会福祉協議会　zoom講演会	2022年10月29日	「子どもの睡眠の問題と神経発達障害」
25.日本理学療法士協会 学校保健･特別支援教育理学療法部会 2022 年度障害予防教育研修会	2022年10月2日	「身体性からみた神経発達障害～協調をアセスメントする意義～」
26.予防医療・産業保健ネットワーク第32回研修会	2022年9月15日	『ニューノーマル/with コロナ時代だからこそ もう一度見つめ直したい睡眠リズムの重要性』
27.第４回阪神小児神経疾患研究会 WEB講演会	2022年9月10日	「キーワードはDCD（発達性協調運動障害）～協調から見た神経発達障害へのアプローチ～」
28.兵庫県立教育研修所 高等学校中堅教諭等資質向上研修	2022年8月	今求められる、神経発達障害のトランジション・リエゾン支援
29.「Light It Up Blue MUKOJO! 2022～武庫女を青く照らそう！～」市民公開講座	2022年3月27日	基調講演「不登校の影に潜む子どもの睡眠障害～発達障害との関連も含めて～」 市民公開講座『不登校と子どもの睡眠障害、そしてその背景にある発達障害』
30.大阪市教育委員会　令和３年度 人権啓発普及事業関係職員学習会	2022年3月23日	DCD(発達性協調運動障害)の子どもの理解と支援
31.特定非営利活動法人 神経発達症研究推進機構 京都大学課題解決型高度 医療人材養成プログラム（ASD Project）共催シンポジウム「子どもと大人の不器用さ～発達性協調運動症（DCD）の理解と支援～」	2022年3月19日	中井昭夫「みんなに知ってほしいDCD のこと～不器用な子どもの理解と支援にむけて～」
32.ADHD　Webカンファレンス	2022年3月10日	神経発達障害への協調からのアプローチ～キーワードはDCD（発達性協調運動障害）～」
33.野洲市早期療育通園事業「にこにこ教室」保護者研修会	2022年3月2日	「睡眠からみた子どもの神経発達障害～発達障害の時間治療の可能性について～」
34.香川大学教育学部 附属特別支援学校 公開講演会	2022年2月23日	「不器用なこどもたち～DCD（発達性協調運動障害）という視点からの理解と支援～」

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
		『身体の姿勢・動きの発達的な評価と活用～発達性協調運動障害の評価の視点から～』
35.熊本県理学療法士協会 第7回小児理学療法講習会	2022年2月6日	キーワードはDCD ～協調からみた神経発達障害の新しい理解～
36.第11回 武庫川女子大学 健康運動科学研究所 シンポジウム	2022年1月9日	DCD（発達性協調運動障害)ってなに? ～不器用さのある子どもの理解と支援～ 武庫川女子大学健康運動科学研究所主催、教育研究所共催
37.認定NPO法人EDGE主催　LSA（学習支援員）養成講座2021	2021年11月28日	最近よく聞くDCD（発達性協調運動障害）って何？ ～不器用な子どもの理解と支援について～
38.京都府南丹保健所 令和３年度「発達障害児等早期発見・早期療育支援事業」講演会	2021年8月7日	子どもの睡眠とその問題～脳の発達、発達障害との関連について～
39.2021年度兵庫県中堅教諭等資質向上研修	2021年8月3日	不登校の影に潜む子どもの睡眠障害～不登校への医学・脳科学からのアプローチ～
40.武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科・教育研究所「保育士・幼稚園教諭・子育て支援者のためのレベルアップ勉強会」	2021年7月30日	「睡眠から子どもの発達を考える～子どもの睡眠の問題と発達障害～」
41.大阪医科薬科大学LDセンター講演会	2021年6月4日～6月7日	DCD（発達性協調運動障害）って何？～不器用な子どもの理解と支援～
42.「Light it Up MUKOJO!2021～武庫女を青く照らそう！～ 」市民公開講座	2021年3月28日	女性の発達障害　～発達障害のある女性が一生を描ききるために必要なこと～
43.石川県小児睡眠研究会	2021年3月4日	「小児神経発達障害への睡眠からのアプローチ～自閉症スペクトラム障害の包括的時間治療～」
44.岡山県小児科医会研修会	2020年11月21日	「睡眠からみた小児神経発達障害～自閉症スペクトラム障害の包括的時間治療～」
45.認定NPO法人 EDGE LSA(学習支援員) 養成講座	2020年11月15日	子どもの睡眠障害の正しい理解に向けて～ICT依存にも触れて～
46.第67回熊本保健研究会	2020年2月2日	「不器用さには理由がある？！～気づかれないもう一つの発達障害へのアプローチ～DCD（発達性協調運動障害）」「小児科医だからできる身体性からの神経発達障害へのアプローチ～キーワードはDCD（発達性協調運動障害）～」
47.一般社団法人 笑壷研（ETUBOLAB）設立記念シンポジウム	2019年11月3日	ASDは私の誇り！ニューロダイバーシティーの世界に向かって Proud to be on the Spectrum!　Toward the World of Neurodiversity.
48.認定NPO法人エッジ　LSA(学習支援員)養成講座	2019年10月27日	「子どもの睡眠障害の正しい理解に向けて～ICT依存にも触れて～」
49.睡眠リズム障害患者会（R&S）ｘおひさまの家の関東関西交流勉強会	2019年10月20日	「生活リズムは生体リズム～生活習慣で自分の脳と身体をコントロールする～」
50.大阪市教育委員会保護者講座	2019年10月16日	睡眠からみた子どもの発達とその障害
51.香川県医師会「令和元年度 プライマリケア医等・発達障害対応力向上研修会」	2019年9月8日	「神経発達障害は身体障害？～DCD（発達性協調運動障害）というキーワード～」
52.茨木市教育センター支援教育研修	2019年7月30日	子どもの睡眠障害と発達障害との関連について
53.兵庫県立教育研修所「令和元年度 高等学校中堅教諭等資質向上研修」	2019年7月25日	「不登校14万人の影に潜む子どもの睡眠障害～医学・医療から不登校へのアプローチ～」
54.大阪市立宮原小学校　研修会	2019年7月23日	目からウロコの「特別じゃない」特別支援教育～神経発達障害の正しい理解と支援～
55.NPO法人オルケスタ2周年記念講演会	2019年5月25日	睡眠からみる子どもの発達～子どもの睡眠の問題の正しい理解～
56.武庫川学院80周年記念事業公募型採択行事「Light It UP Blue MUKOJO!　～武庫女を青く照らそう！～」 市民公開講座「発達障害の世界を感じてみよう！」	2019年4月27日	「発達障害のカラダのこと？～発達障害を身体性から考える～」
57.大阪医科大学LDセンター　「教師力を高める研修シリーズ」	2019年3月2日	「眠育はなぜ大切か　～子どもの睡眠の問題を考える～」
58.尼崎市医師会「乳幼児保健講演会」	2019年2月20日	「不器用な子どもたち～DCD（発達性協調運動障害）という視点からの理解と対応～」
59.第14回高知AD/HD研究会	2018年12月7日	「睡眠から発達障害を捉え直す」
60.大阪市港区「2018年度 第34回 みなと人権展」	2018年12月4日	「発達性協調運動障害（DCD)とは～不器用と言われる子どもたちへの理解と支援～

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
61.認定NPO法人EGDE　LSA（学習支援員）養成講座	2018年11月7日	「子どもの発達障害と睡眠の問題　～ICT依存にも触れて～」
62.平成30年度「下関子どもの心の研修会」	2018年11月2日	「発達障害は身体障害？～発達障害を身体性から考えてみる～」
63.大阪市都島区役所「子育て支援室講演会」	2018年10月24日	「子どもの睡眠、大丈夫？！～睡眠の問題が子どもの発達に与える影響について～」
64.平成30年度 第1回岡山県「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会」	2018年10月21日	「発達性協調運動障害（DCD)～発達障害への身体性からのアプローチ～」
65.子どもの発達支援を考えるSTの会 全国研修会in大阪	2018年10月7日	「子どもの睡眠の問題への理解と対応　～発達障害とのかかわり～」
66.京都府社会福祉事業団こども発達支援センター　発達障害講演会2018	2018年9月29日	「子どもの睡眠障害の理解と支援にむけて」
67.武庫川女子大学教育研究所「子ども発達科学研究センター」「子どもの発達を学ぶ会」	2018年9月1日	「クウ・ネル・アソブ（食事・睡眠・運動）～カラダからみた子どものココロの発達～」
68.阪神地区発達障害学術講演会	2018年8月2日	「小児科医だからできる発達障害への身体性からのアプローチ～発達性協調運動障害を例に～」
69.武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科「保育士のためのレベルアップ勉強会」	2018年7月28日	「子どもの睡眠の問題への理解と対応　～発達障害への関わり～」
70.兵庫県立教育研修所「平成30年度 高等学校中堅教諭等資質向上研修」	2018年7月26日	「発達障害の診察室から見えてきた新しい発達障害の理解とライフステージを見据えた今必要な支援・今できる支援」
71.ターナー女児・女性とその家族の会「ひまわりの会」第60回講演会	2018年7月22日	「不器用な子どもの理解と支援～発達性協調運動障害（DCD）について～」
72.鯖江市保育協議会総会　特別講演	2018年5月26日	「寝る子は育つってホント！ちゃんと寝るって？ ～子どもの睡眠と発達との関連について～」
4 その他		
1.第８回日本DCD学会学術集会 若手優秀演題賞	2025年5月	大坪孝洋、福西知史、當座邦恵、中井昭夫 神経発達症の特性のある子どもに対する運動介入が協調・視知覚に与える影響について
2.第11回日本小児理学療法学会学術大会 学術大会長賞（共著）	2024年11月2日	橋添健也，中井昭夫，信迫悟志 発達性協調運動障害を有する児における運動イメージ能力－2種類の運動イメージ課題を用いた検証－
3.第7回日本DCD学会学術集会 若手優秀演題賞（共著）	2024年4月	藤澤翠美花・齊藤彩・中井昭夫 幼児期のDCDおよび自閉症スペクトラム特性と情緒・行動の問題との関連
4.KRIS2023 Excellent Presentation Award（共著）	2023年3月	Ogawa H, Ogoshi S, Ogoshi Y, Nakai A Can Deep Generative Models explain brain function in people with Developmental Dyslexia?
5.第9回日本小児理学療法学会学術大会 優秀賞（共著）	2022年11月	信迫悟志，温 文，中井昭夫，森岡周 発達性協調運動障害を有する児における行為-結果の規則性の知覚感度
6.第54回日本てんかん学会「優秀ポスター賞」（共著）	2021年10月	Ito J, Kamei A, Araya N, Akasaka M, Mori F, Ito K, Fujiwara E, Kubo C, Takeishi S, Sasaki M, Nakai A, Oyama K. Diffusional kurtosis imaging study of childhood epilepsy with motor coordination problems.
7.日本自閉症スペクトラム学会実践研究賞（共著）	2021年8月	綿引清勝、澤江幸則、島田博祐、中井昭夫 身体的不器用さを有する自閉スペクトラム症児の投動作における臨床的な特徴と介入効果について～投動作の質的な変化の違いに着目して～ 自閉症スペクトラム研究　17:59-67.2020. https://www.jstage.jst.go.jp/.../17/2/17_59/_pdf/-char/ja
8.最優秀作品賞（文部科学大臣賞）（監修）	2021年8月	日本視聴覚協会主催 2021年度「優秀映像教材選奨」 https://www.javea.or.jp/fes/21nyushou.html
9.Marquis Who's Who Lifetime Achievement Award 2018	2018年	https://wwlifetimeachievement.com
10.日本作業療法士協会 奨励賞（共著）	2015年	多辺田俊平、相崎貢一、北洋輔、松尾美穂、神田聡、上田敏宏、小沢浩、中井昭夫自閉症スペクトラム障害

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
		児の不器用さに対する認知志向型・家族参加型グループリハビリテーションの試み　～しまはちチャレンジクラブの有効性と課題～ 作業療法 34:307-316.2015.
11.日本発育発達学会　優秀研究賞（共著）	2015年	飯田悠佳子、中井昭夫、森脇愛子、神尾陽子 我が国の一般児童・生徒における自閉症的行動特性と不器用との関連性 日本発育発達研究　11:58. 2013
12.福井大学医学部 優秀論文賞（筆頭）	2011年	Nakai A, T. Miyachi, R. Okada, I. Tani, S. Nakajima, M. Onishi, C. Fujita, M.Tsujii Evaluation of the Japanese version of the Developmental Coordination Disorder Questionnaire as a screening tool for clumsiness of Japanese children. Research in Developmental Disabilities 32:1615-22.2011
13.福井大学医学部 附属病院　功労賞	2008年	
14.第１回日本母性看護学会 学術論文賞（共著）	2007年	佐々木綾子，中井昭夫，波崎由美子，松木健一，田邊美智子 青年期の母性を育てる乳幼児とのふれあい育児体験に関する実証的研究 日本母性看護学会誌 7:1-10.2007

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.子どものこころ指導医	2022年3月1日	
2.子どものこころ専門医	2019年9月29日	http://kks-kokoro.jp/index.html
3.公認心理師	2019年2月5日	
4.日本小児科学会認定「小児科指導医」	2017年4月1日	
5.日本小児精神神経学会「認定医」	2011年9月1日	
6.日本臨床薬理学会　「特別指導医」	2009年1月1日	
7.臨床発達心理士認定運営機構 臨床発達心理士	2008年4月1日	
8.日本小児科医会認定　「子どものこころ」相談医	2002年10月1日	
9.身体障害者福祉法第15条指定医	2001年12月1日	
10.日本小児科学会「小児科専門医」	1991年10月1日	
11.医師免許証	1986年6月9日	
2 特許等		
1.第5360815号 取得（特願2009-074306）　発声訓練支援装置及びそのプログラム	2013年9月	
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.先端医療振興財団 先端医療センター研究所　上席研究員	2014年～2015年	
2.日本学術振興会 アジア研究教育拠点事業「脳科学と疫学の連携によるこころの教育・研究拠点」研究協力者	2012年～2013年	
3.McGill大学モントリオール神経研究所 McConnell Brain Imaging Centre ポストドクトラルフェロー＆リサーチスタッフ	1998年9月～2000年9月	
4 その他		
1.東北大学大学院 教育学研究科 非常勤講師	2016年	
2.鳥取大学 地域学部地域教育学科　非常勤講師	2015年～現在	
3.福井大学医学部附属病院「子どものこころ診療部」客員教授	2014年～2015年	
4.神戸親和女子大学 発達教育学部　非常勤講師	2014年～2015年	
5.金沢大学 人間社会学域 学校教育学類 非常勤講師	2007年～2009年	
6.福井大学 教育学部（教育地域科学部）　学内講師／非常勤講師	2002年～2018年	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.成長発達に合わせた哺乳と離乳食のサポートブック（仮）	共	2026年（印刷中）	協同医書出版社	中井昭夫　哺乳と協調とコミュニケーション
2.『臨床教育学への扉』	共	2026年	ミネルヴァ書房	中井昭夫 神経発達症の理解と支援のブレークスルーを目指して 志水宏吉・安東由則・中井昭夫編
3.講座 精神疾患の臨床「9. 神経発達症群」	共	2024年	中山書店	発達性協調運動症 Developmental Motor Coordination Disorder（DMCD）
4.児童期・青年期のメンタルヘルスと心理社会的治療・支援（精神療法増刊第11号）	共	2024年	金剛出版	発達性協調運動症のメンタルヘルス支援
5.睡眠学の百科事典	共	2024年	日本睡眠学会編、丸善出版	「第II部 睡眠社会学 3章 睡眠と社会」「不登校とひきこもり」
6.Individual Education Support System Using ICT for Developmental Disabilities	共	2023年	IntechOpen, London, UK	Cognitive Behavioral Therapy - Basic Principles and Application Areas DOI 10.5772/intechopen.102251 Ogoshi S, Ogoshi Y, Saitoh T, Tanaka K, Itoh Y, Wakamatsu M, Kanno T, Nakai A. https://www.intechopen.com/books/11890 https://www.intechopen.com/chapters/87227
7.イラストでわかるDCDの子どものサポートガイド ～不器用さのある子の「できた！」が増える１３４のヒントと４５の知識～	共	2022年	合同出版、東京	中井昭夫(編著)、若林秀昭、春田大志、小野ひろみ
8.ハンディシリーズ「発達障害支援・特別支援教育ナビ」『発達障害のある子の感覚・運動への支援』	共	2022年	金子書房、東京	中井昭夫「協調をアセスメントする意義　～DCDQ、M-ABC2日本語版の開発と臨床応用～」68-78.
9.今日の精神科治療ハンドブック2021年度版	共	2021年	星和書店、東京	中井昭夫　発達性協調運動症 精神科治療学第36巻増刊号　20-21
10.クリニカルガイド小児科　専門医の診断・治療	共	2021年	南山堂、東京	中井 昭夫「不登校・睡眠障害」876-882.
11.今日の小児治療指針　第17版	共	2020年	医学書院、東京	中井 昭夫「睡眠関連疾患（不適切な睡眠衛生／概日リズム睡眠・覚醒障害群）」
12.発達性協調運動障害（DCD）の理解と支援　全２巻	単	2019年	丸善出版　映像メディア部	発達性協調運動障害（DCD）に関する映像教材（DVD)全２巻の監修
13.発達性協調運動障害～不器用さのある子どもの理解と支援～	共	2019年	金子書房、東京	中井 昭夫「医学・脳科学からみたDCD」
14.公認心理師技法ガイド～臨床の場で役立つ実践のすべて～	共	2019年	文光堂、東京	中井昭夫　「発達性協調運動障害の検査」
15.発達障害白書 2018年版	共	2018年	明石書店、東京	中井昭夫「時の話題　日本DCD学会設立」
16.発達障害医学の進歩30	共	2018年	日本発達障害連盟、東京	中井昭夫　「不器用な子ども－DCDという視点からの理解と支援－」
17.発達障害のリハビリテーション　多職種	共	2017年	医学書院、東京	中井昭夫、若林秀昭、阿部佳奈　「DCD」

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
アプローチの実際 18.こどものリハビリテーション医学　第３版　～発達支援と療育～	共	2017年	医学書院、東京	中井昭夫 「発達性協調運動症／発達性協調運動障害」
19.LD・ADHD等関連用語集　第４版	共	2017年	日本文化社、東京	中井昭夫 「睡眠障害：Sleep Disorders」
20.児童心理学の進歩 55 （日本児童研究所）	共	2016年	金子書房、東京	中井昭夫 「協調運動から見た神経発達障害
21.データで読み解く発達障害	共	2016年	中山書店、東京	中井昭夫 「発達性協調運動障害（DCD）
22.発達障害事典（日本LD学会）	共	2016年	丸善出版、東京	中井昭夫「発達性協調運動症/発達性協調運動症障害」 中井昭夫 「睡眠障害」
23.Images in Child Neurology 続・イメージからせまる小児神経疾患 50 －症例から学ぶ 診断・治療プロセスー（日本小児神経学会）	共	2015年	診断と治療社、東京	中井昭夫「胎児期からの水頭症と、筋緊張低下、肝障害、治療抵抗性けいれんを認めた新生女児」
24.いま，小児科医に必要な実践臨床小児睡眠医学	共	2015年	診断と治療社、東京	監修　三池照久、小西行郎、中井昭夫 豊浦麻記子、中井昭夫 「小児睡眠障害とICT（情報通信技術）依存」pp.69-76. ②中井昭夫 「小児睡眠障害と運動」 pp.77-85.③中井昭夫「小児のむずむず脚症候群（RLS)」pp.86-87 ④中井昭夫「ナルコレプシーのきょうだい例」pp.118-119
25.発達障害児者支援とアセスメントのガイドライン	共	2014年	金子書房、2014	中井昭夫「発達障害領域でよく使用されるアセスメントツール；協調運動機能のアセスメント：DCDQ-R、Movement-ABC2」pp.257-264. 中井昭夫「アセスメントツールの活用の仕方：発達性協調運動障害（Developmental Coordination Disorder: DCD）の発見、診断のためのアセスメント」pp.290-296.
26.子どものPTSD：診断と治療	共	2014年	診断と治療社、東京	中井昭夫「子どものトラウマへの予防と治療としてのペアレントトレーニング」
27.ADHD: Cognitive Symptoms, Genetics and Treatment Outcomes.	共	2013年	Nova Science Publishers, Inc. New York.	Nakai A. Motor Coordination Dysfunction in ADHD: New Insights from the Classroom to Genetics.
28.小児科学レクチャー「プライマリケアで使える子どもの発達と心の問題への対応 Q&A	共	2012年	総合出版社、東京	中井昭夫「不器用な子ども-発達性協調運動障害-」
29.Identification of Factors Affecting Cognitive and Behavioral Development of Children in Japan: Practice Records on Japan Children's Study (“Suku-Suku” Cohort) (R&D Focus Area: Brain-Science and Society)	共	2011年	Research Institute of Science and Technology for Society(RISTEX), Japan Science and Technology Agency(JST)	Kawaguchi H, Nakai A All Practical Records of the Japan Children's Study: How the Cohort Research Structure was Established.
30.日本における子供の	共	2011年	独立行政法人 科学	川口英夫、中井昭夫

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
認知・行動発達に影響を与える要因の解明：すくすくコホート実践記録集（「脳科学と社会」研究開発領域）			技術振興機構 社会技術研究開発センター	「コホート研究組織構築と研究地域拠点選定の経緯
31. Images in Child Neurology イメージからせまる小児神経疾患 50 －症例から学ぶ 診断・治療プロセス－（日本小児神経学会）	共	2010年	診断と治療社、東京	中井昭夫「緩徐に進行する運動失行，構語障害を呈した７歳女児」
32. 臨床医とコメディカルのための最新クリニカルPET	共	2010年	先端医療技術研究所、東京	中井昭夫「脳疾患の診断・評価 ーてんかんー」
33. コア・ローテイション 小児科	共	2003年	金芳堂、東京	中井昭夫、重松陽介「発達障害」
34. 遺伝医学入門	共	1998年	金芳堂、東京	中井昭夫「代謝異常」pp.70-73. 中井昭夫「アミノ酸尿症」pp.74-75.
2 学位論文				
1. Pathophysiologic Study on Methylmalonic Aciduria: Decrease in Liver High-Energy Phosphate after Propionate Loading in Rats.	共	1991年	Pediatric Research 7:184-5.1991 （査読付き）	Nakai A, Shigematsu Y, Saito M, Kikawa Y, Sudo M
3 学術論文				
1. Journal of Developmental Disabilities Research	共	2025年	Poor motor coordination in Japanese children with developmental dyslexia （査読付き）	Oka M, Nakai A, Morooka T, Tsushima Y, Hanaoka Y, Ogino T, Kobayashi K
2. Gait characteristics in 6-year-old children born extremely preterm.	共	2025年	Eur J Pediatr. 2025 Nov 12;184(12):749. （査読付き）	Ito Y, Sugiyama Y, Ito T, Hattori T, Narahara S, Kataoka E, Tanahashi Y, Hyodo R, Kidokoro H, Kubota T, Nakai A, Ochi N, Natsume J, Kato Y.
3. Small for gestational age as a predictor of developmental coordination disorders: Exploring early risk from Japan birth cohort consortium	共	2025年	Brain and Development 47: 104435. 2025, （査読付き）	Iwata H, Tojo M, Tsuchiya KJ, Ishikuro M, Chen G, Suyama S, Nakai A, Tamura N, Yoshikawa T, Yamagata T, Nishimura T, Yamaguchi T, Yamazaki K, Obara T, Ishitsuka K, Morisaki N, Makino K, Kuriyama S, Kishi R.
4. Kinematic and kinetic characteristics of graphomotor skills in children with	共	2025年	Human Movement Science https://doi.org/10.1016/j.humov.2025.103388 （査読付き）	Kataoka S, Nakai A, Nobusako S

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
neurodevelopmental disorders: The impact of DCD, ADHD, and ASD traits.				
5. Developmental Changes in Independent Bimanual Coordination: Evidence from the Circles-LinesCoupling Task in Children Aged 5-13 Years	共	2025年	Frontiers in Human Neuroscience, section Motor Neuroscience ttps://doi.org/10.3389/fnhum.2025.1620941 （査読付き）	Nobusako S., Hashizoe K., NAKAI A.
6. The use of motor imagery in 6-7-year-old children is not robust: Evidence from two motor imagery tasks.	共	2025年	Hum Mov Sci. 2025;101:103362. （査読付き）	Nobusako S, Tsujimoto T, Sakai A, Yokomoto T, Nagakura Y, Sakagami N, Fukunishi T, Takata E, Mouri H, Osumi M, Nakai A, Morioka S.
7. Association Between Developmental Coordination Disorder Traits, Autistic Traits, and Emotional/Behavioral Problems in Japanese Preschool Children.	共	2025年	Children, 12:420.2025 （査読付き）	Fujisawa S*, Saito A, Sugawara M, Nakai A*. * corresponding author
8. 身体性からの神経発達症へのアプローチ～神経発達症の理解と支援のブレークスルーを目指して～	単	2025年	コミュニケーション障害学　42:13-16.2025 （査読付き）	中井昭夫
9. Examining the Effectiveness of Ayres Sensory Integration® Intervention for Children With Developmental Coordination Disorder in Improving Motor Coordination and Daily Activity Function: A Randomized Controlled Trial.	共	2025年	Cureus 17(1):e76971.　10.7759/cureus.76971 （査読付き）	Yamanishi Y, Orita Y, Nagayoshi M, Nishimura R, Shinjyo T, Masuda K, Hayashi Y, Nakai A, Imamura A, Parham LD, Iwanaga R.
10. Factors Influencing Chopstick Use and an Objective Identification of Traditional	共	2025年	PLOS ONE 20(1):e0314113 （査読付き）	Choji Y., Hirokawa N., Morimotol C., China N., Nakai A., Miyata K.

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
Holding Techniques in Children				
11. Action-outcome Regularity Perceptual Sensitivity in Children with Developmental Coordination Disorder	共	2024年	Autism Dev Disord. 54:4325-4338. 2024 doi: 10.1007/s10803-023-06144-x. （査読付き）	Nobusako S, Wen W, Osumi M, Nakai A, Morioka S.
12. Effects of oriental medicinal tea on sleep quality and EEG Activity	共	2024年	INTERNATIONAL JOURNAL OF PSYCHOLOGY 58: 477-177.2023 （査読付き）	Ogoshi, S, Ogoshi, Y, Shimada, C , Nakai, A
13. Association between small for gestational age and motor coordination difficulties in children aged 5-6 years: Insights from the Hokkaido Study on Environment and Children’s Health	共	2024年	Brain & Development 47 (1):104296.2024 （査読付き）	Tojo M, Iwata H, Tamura N, Yamaguchi T, Tsuchiya KJ, Suyama S, Obara T, Nakai A, Yoshikawa T, Yamagata T, Itoh M, Yamazaki K, Kobayashi S, Kishi R
14. 協調の発達と感覚特異性との関係	共	2024年	日本児童青年精神医学会雑誌「児童青年精神医学とその近接領域」 65:544-550.2024.	中井昭夫 特集「感覚特異性のある子ども」
15. Investigating the Link between Temperamental and Motor Development: A Longitudinal Study of Infants Aged 6-42 Months	共	2024年	BMC Pediatrics 24:614. 2024. （査読付き）	Nakagawa A, Miyachi T, Tomida M , Matsuki T, Sumi S, Imaeda M, Nakai A, Ebara T, Kamijima M
16. The Relationship between Motor Skills, Occupational Performance and Mental Health in Japanese Children with Neurodevelopmental Disorders.	共	2024年	Journal of Motor Learning and Development 12: S80 （査読付き）	Yasunaga M, Miyaguchi H, Ishizuk Ci, Nakai A, Kita Y,.
17. The effect of group occupational therapy for ADL in Clumsy Children with Neurodevelopmental Disorders: A Pilot Study	共	2024年	Journal of Motor Learning and Development 12: S60 （査読付き）	Higashionna T, Cho K, Nakai A, Iwanaga R
18. Association between	共	2024年	Journal of Motor Learning and	Fujisawa S, Saito A, Nakai A

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
Developmental Coordination Disorder Traits, Autism Spectrum Disorder, and Emotional/ Behavioral Problems among Preschool Children			Development 12: S66 65:544-550.2024. （査読付き）	
19. The association between motor skills, occupational performance, and mental health in Japanese children with neurodevelopmental disorders.	共	2024年	Children Special Issue"Current Updates and Future Perspectives of Developmental Coordination Disorders in Children: From Classroom to Lab, and Back" 65:544-550.2024. （査読付き）	Yasunaga M, Miyaguchi H, Ishizuki C, Kita Y, Nakai A. *Corresponding author
20. The Impact of CO-OP approach on Coordination, QOL, and Parenting Behavior in Japanese Children with Neurodevelopmental disorders.	共	2024年	Journal of Motor Learning and Development 12: S77 （査読付き）	Katsuhara Y, Nakai A
21. Online 3-Minute Calisthenics improve Coordination, Core Symptoms, Emotion, and Adaptive Behavior in Children with Neurodevelopmental Disorder Traits.	共	2024年	Journal of Motor Learning and Development 12: S48 65:544-550.2024. （査読付き）	Okugawa S, Nakai A
22. Action-outcome Regularity Perceptual Sensitivity in Children with Developmental Coordination Disorder	共	2023年	Journal of Autism and Developmental Disorders https://doi.org/10.1007/s10803-023-06144-x （査読付き）	Nobusako S, Wen W, Osumi M, Nakai A, Morioka S.
23. Can Deep Generative Models Explain Brain Function in People with Developmental Dyslexia?	共	2023年	Electronics. 2023; 12(10): 2305. https://www.mdpi.com/2079-9292/12/10/2305 （査読付き）	Ogawa H, Ogoshi S, Ogoshi Y, Nakai A.
24. Cognitive	共	2023年	Brain Sciences:	Yasunaga, M.; Miyaguchi, H.; Ishizuki, C.; Kita, Y.; Nakai,

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
Orientation to Daily Occupational Performance: A Randomized Controlled Trial Examining Intervention Effects on Children with Developmental Coordination Disorder Traits			the Special Issue New Insights in Developmental Coordination Disorder. 2023; 13(5):721. https://doi.org/10.3390/brainsci13050721 （査読付き）	A. (corresponding author)
25. Decreased Walking Efficiency in Elementary School Children with Developmental Coordination Disorder Trait.	共	2023年	Clinical Rehabilitation. 2023;37(8):1111-1118. doi:10.1177/02692155221150385 （査読付き）	Ito T, Sugiura H, Ito Y, Nakai A, Narahara S, Noritake K, Takahashi D, Natsume J, Ochi N.
26. Developmental changes in action-outcome regularity perceptual sensitivity and its relationship to hand motor function in 5-16-year-old children.	共	2022年	Sci Rep 12, 17606 (2022) https://doi.org/10.1038/s41598-022-21827-8 （査読付き）	Nobusako S., Wen W., Nagakura, Y. Tatsumi M, Kataoka S, Tsujimoto T, Sakai A, Yokomoto T, Takata E, Furukawa E, Asano D, Osumi M, Nakai A, Morioka S.
27. 発達性協調運動障害（DCD）が学習や心理発達に与える影響とこれからの支援	単	2022年	実践みんなの特別支援教育「1冊まるごと特集：見過ごさずに支援する！子どもの心と体の困りごと」50:10-14.2022	中井昭夫
28. Diffusion kurtosis imaging study of childhood epilepsy with and without motor coordination problems	共	2022年	Journal of Iwate Medical Association, 74: 61-81.2022 （査読付き）	Jun Ito, Atsushi Kamei, Nami Araya, Manami Akasaka, Futoshi Mori, Kenji Ito, Ema Fujiwara, Makoto Sasaki, Akio Nakai, Kotaro Oyama
29. The Relationship between Motor Coordination Ability, Cognitive Ability, and Academic Achievement in Japanese Children with Autism Spectrum Disorder and Attention Deficit/Hyperactivity Disorder.	共	2022年	Brain Sciences: the Special Issue New Insights in Developmental Coordination Disorder (DCD)12:674.2022 DOI https://doi.org/10.3390/brainsci12050674 （査読付き）	Higashionna T, Iwanaga R, Tokunaga A, Nakai A, Tanaka K, Tanaka G
30. Spatial Instability during Precision Grip-	共	2022年	Brain Science : the Special Issue New	Nishi Y, Nobusako S, Tsujimoto T, Sakai A, Nakai A, Morioka S https://doi.org/10.3390/brainsci12050598

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
Lift in Children with Poor Manual Dexterity			Insights in Developmental Coordination Disorder (DCD) DOI https://doi.org/10.3390/brainsci12050598 （査読付き）	
31.神経発達症リスク児早期発見のための新検査の開発 ～協調運動項目における基準関連妥当性のパイロット研究～	共	2022年	日本発達系作業療法学会誌 9:49-57.2022 （査読付き）	米田直人、鴨川　拳、金　貴玲、川中瑞帆、中井昭夫、徳永瑛子、岩永竜一郎
32.就学前年長児における協調運動とADLの作業遂行能力の関連	共	2022年	日本発達系作業療法学会誌 9:65-73.2022 （査読付き）	齋藤知美、伊藤祐子、石橋　裕、助川文子、中井昭夫
33.特集：学習の遅れを支える―限局性学習症のいま―　発達性協調運動障害と学習困難	単	2021年	そだちの科学　37:42-45.2021.	中井昭夫
34.Bilateral asymmetry in the gait deviation index in school-aged children with the trait of developmental coordination disorder.	共	2021年	Gait & Posture 88: 174-179. 2021. doi.org/10.1016/j.gaitpost.2021.05.027 （査読付き）	Ito T, Ito Y, Nakai A, Sugiura H, Noritake K,Kidokoro H, Natsume J, Ochi N.
35.Emotional and behavioral problems in Japanese preschool children with motor coordination difficulties: the role of autistic traits.	共	2021年	European Child & Adolescent Psychiatry. https://doi.org/10.1007/s00787-021-01732-7 （査読付き）	Shirama A, Stickley A, Kamio Y, Nakai A, Takahashi H, Saito A, Haraguchi H, Kumazaki H, Sumiyoshi T.
36.Fine and gross motor skills predict later psychosocial maladaptation and academic achievement.	共	2021年	Brain & Development https://doi.org/10.1016/j.braindev.2021.01.003 （査読付き）	Katagiri M, Ito H, Murayama Y, Hamada M, Nakajima S, Takayanagi N, Uemiya A, Myogan M, Nakai A, Tsujii M.
37.Increased visual bias in children with developmental coordination disorder: Evidence from a visual-tactile temporal order judgment task.	共	2021年	Human Movement Science. 2021; 75: 102743. （査読付き）	Nobusako S, Osumi M, Furukawa E, Nakai A, Maeda T, Morioka S.
38.「常同運動症／常同	単	2020年	精神科治療学 第	中井昭夫

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
運動障害」			35巻増刊号「児童・青年期の精神疾患治療ハンドブック」35(suppl):197-200.2020.	
39.「発達性協調運動症／発達性協調運動障害」	単	2020年	精神科治療学 第35巻増刊号「児童・青年期の精神疾患治療ハンドブック」35(suppl):143-147.2020.	中井昭夫
40.Altered sense of agency in children with developmental coordination disorder.	共	2020年	Research in Developmental Disabilities. 107: 103794. 2020. https://doi.org/10.1016/j.ridd.2020.103794 （査読付き）	Nobusako S, Osumi M, Hayashida K, Furukawa E, Nakai A, Maeda T, Morioka S.
41.Neonatal irritable sleep-wake rhythm as a predictor of autism spectrum disorders.	共	2020年	Neurobiology of Sleep and Circadian Rhythms 9: 100053. 2020. https://doi.org/10.1016/j.nbscr.2020.100053 （査読付き）	Miike T, Toyoura M, Tonooka S, Konishi Y, Oniki K, Saruwatari J, Tajima S, Kinoshita J, Nakai A, Kikuchi K.
42.The time window for sense of agency in school-age children is different from that in young adults.	共	2020年	Cognitive Development https://doi.org/10.1016/j.cogdev.2020.100891 （査読付き）	Nobusako S ,Tsujimoto T,Sakai A, Shuto T,Hashimoto Y, Furukawa E,Osumia M,Nakai A, Maeda T, Morioka S.
43.Risk factors for motor coordination problems in preschool-aged children.	共	2020年	Pediatr Int. 2020 Apr 30. doi : 10.1111/ped.14275. （査読付き）	Suyama S, Yagyu K, Araki A, Miyashita C, Itoh S, Minatoya M, Yamazaki K, Tamura N, Nakai A, Saito T, Kishi R.
44.身体的不器用さを有する自閉スペクトラム症児の投動作における臨床的な特徴と介入効果について～投動作の質的な変化の違いに着目して～	共	2020年	自閉症スペクトラム研究 17:59-67.2020. （査読付き）	綿引清勝、澤江幸則、島田博祐、中井昭夫
45.特集『子どもの睡眠と発達脳、そしてその障害』不登校の影に潜む子どもの睡眠障害	単	2020年	日本外来小児科学会雑誌「外来小児科」23:205-209.2020	中井昭夫
46.Manual Dexterity is not Related to Media Viewing but is Related to	共	2020年	Brain Sci. 2020, 10(2), 100 ; https://doi.org/10.3390/	Nobusako S, Tsujimoto T, Sakai A, Shuto T, Furukawa E, Osumi M, Nakai A, Maeda T, Morioka S.

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
Perceptual Bias in School-Age Children			brainsci10020100 （査読付き）	
47.子どもの協調運動の発達と行動特性およびQOLとの関連―小学２年生と５年生を対象とした保護者記入による質問紙調査―	共	2019年	日本子ども学会雑誌「チャイルドサイエンス」18：15-20.2019 （査読付き）	戸次佳子、中井昭夫、榊原洋一
48.児童・思春期における発達障害特性と社会的スキルとの関係	共	2019年	LD研究 28:325-335. 2019 （査読付き）	片桐正敏、伊藤大幸、村山恭朗、高柳伸哉、浜田 恵、中島俊思、上宮 愛、明翫光宜、中井昭夫、辻井正次
49.Subthreshold Vibrotactile Noise Stimulation Immediately Improves Manual Dexterity in a Child With Developmental Coordination Disorder: A Single-Case Study.	共	2019年	Front Neurol. 2019 Jul 2;10:717. doi: 10.3389/fneur.2019.00717. eCollection 2019. （査読付き）	Nobusako S, Osumi M, Matsuo A, Furukawa E, Maeda T, Shimada S, Nakai A, Morioka S
50.Stochastic resonance improves visuomotor temporal integration in healthy young adults.	共	2018年	PLoS One 13(12): e0209382.2018. （査読付き）	Nobusako S, Osumi M, Matsuo A, Fukuchi T, Nakai A, Zama T, Shimada S, Morioka S.
51.Development of Sleep Support System Using Electroencephalogram for Person with Developmental Disorders	共	2018年	Sensors and Materials 30: 1457-1462.2018 （査読付き）	Ogoshi S, OgoshiY, Saitou T, Nishi H, Mitsuhashi Y, Nakai A
52.Manual Dexterity Is a Strong Predictor of Visuo-Motor Temporal Integration in Children.	共	2018年	Front Psychol. 2018 Jun 12;9:948. doi: 10.3389/fpsyg.2018.00948. （査読付き）	Nobusako S, Sakai A, Tsujimoto T, Shuto T, Nishi Y, Asano D, Furukawa E, Zama T, Osumi M, Shimada S, Morioka S, Nakai A.
53.微細神経学的徴候（ソフト・ニューロジカル・サイン）の発達	単	2018年	小児内科 50:1306-1309.2018.	中井昭夫 「小児の正常発達シリーズ」
54.Applicability of the Movement Assessment Battery for Children-Second Edition (MABC-2) for Japanese children aged 3~6 years: a preliminary investigation emphasizing internal	共	2018年	Frontiers in Psychology https://doi.org/10.3389/fpsyg.2018.01452 （査読付き）	Hirata S, Kita Y, Yasunaga M, Suzuki K, Okumura Y, Okuzumi H, Hosobuchi T, Kokubun M,Inagaki M, Nakai A.

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
consistency and factorial validity				
55.発達障害は身体障害？ ―身体性からの神経発達障害へのアプローチ―	単	2018年	子どもの心とからだ. 26:362-364. 2018	中井昭夫
56.Deficits in visuo-motor temporal integration impacts manual dexterity in probable developmental coordination disorder.	共	2018年	Front. Neurol. 9 :114.2018 https ://doi.org/10. 3389/fneur.2018. 00114 （査読付き）	Nobusako S, Sakai A, Tsujimoto T, Shuto T, Nishi Y,Asano D, Furukawa E, Osumi M, Shimada S, Morioka S, Nakai A.
57.Atomoxetine improves Motor Coordination in the Children with AD/HD - A Preliminary Report -	共	2017年	Brain and Development 39 (Suppl):292. 2017. （査読付き）	Nakai A, Wakabayashi H, Abe K, Konishi Y
58.幼児期における協調運動と行動及び情緒的問題の関連.	共	2017年	保健科学研究8:17 -24.2017 （査読付き）	三上美咲、斉藤まなぶ、高橋芳雄。足立匡基、大里絢子、増田貴人、中井昭夫、中村和彦、山田順子
59.Coordination difficulties in preschool-aged children are associated with maternal parenting stress: A community-based cross-sectional study.	共	2017年	Research in Developmental Disabilities. 70 :11-23.2017 （査読付き）	Takahashi M, Adachi M, Takayanagi N, Yasuda S, Tanaka M, Osato-Kaneda A, Masuda T, Nakai A, Saito M, Kuribayashi M, Nakamura K
60.Relationship between motor coordination, cognitive abilities, and academic achievement in Japanese children with neurodevelopmental disorders.	共	2017年	Hong Kong Journal of Occupational Therapy. 30:49-55.2017. （査読付き）	Higashionna T, Iwanaga R, Tokunaga A, Nakai A, Tanaka K, Nakane H, Tanaka G.
61.小児の睡眠関連疾患を診る～専門病院の立場から～	単	2017年	睡眠医療「小児の睡眠関連疾患」11 :177-181.2017	中井昭夫
その他				
1．学会ゲストスピーカー				
1.「不登校現象に関する研究の到達点」医学・脳科学における研究動向	単	2025年3月	日本学術会議心理学・教育学委員会「不登校現象と学校づくり分科会」第3公開シンポジウム	シンポジスト
2.「身体性からの神経発達症へのアプロー	単	2024年6月1日	第50回日本コミュニケーション障害	教育講演

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1．学会ゲストスピーカー				
チ～神経発達症の理解と支援のブレークスルーを目指して～」			学会	
3.DCDの Brain-based Education/ Interventionを目指して	単	2023年4月23日	第６回日本DCD学会学術集会（岡山）	特別講演
4.「睡眠リズムからみた子どもの神経発達障害」	単	2023年2月19日	日本小児神経学会「第17回子どものこころのプライマリケア・セミナー」（高松）	日本小児科学会専門医　小児科領域講習単位　認定講演
5.「協調」という窓を通して見えてくるもの ～DCDの鑑別診断とニューロモデレーターとしての薬物療法～	単	2022年4月23日	第5回日本DCD学会学術集会（名古屋）	シンポジウム２：DCD児の健診・診察・支援のポイント
6.身体性から自閉スペクトラム症を捉え直す　～発達性協調運動症という視点～	単	2019年6月	第115回日本精神神経学会　（新潟）	シンポジウム15「自閉スペクトラム症の本質に迫る：感覚・運動機能という新たな視点から」シンポジスト
7.協調をアセスメントする意義 ～Movement Assessment Battery for Children, 2nd Edition (M-ABC２)を用いた臨床研究と日本語版の開発～	単	2019年4月	第3回日本DCD学会学術集会（長崎）	教育講演
8.DCDについて分かっていること、 まだ分かっていないこと、知りたいこと	単	2018年4月	第２回 日本DCD学会 学術集会 （弘前）	シンポジウム「DCDの脳科学的知見と実際の支援」シンポジアスト
9.なぜ、今、DCDなのか？～協調からの神経発達障害へのアプローチ～	単	2017年10月	第59回日本LD学会（宇都宮）	大会企画シンポジウム「不器用さのある子どもたち -発達性協調運動障害（DCD）という視点からの理解と支援―」シンポジアスト
10.発達障害は身体障害？～身体性からの神経発達障害へのアプローチ～	単	2017年9月	第35回日本小児心身医学会（金沢）	教育講演
11.An Embodied Cognition Approach from Coordination to Neurodevelopmental Disorders.	単	2017年9月	ASEAN Pediatric Federation Congress 2017 (Yangon, Myanmar)	招待講演（日本小児科学会推薦演者）
12.協調からみた神経発達障害へのアプローチ」	単	2017年6月	第59回日本小児神経学会（大阪）	シンポジウム「発達性協調運動障害の医療・療育・教育」シンポジアスト
13.協調からみた神経発達障害 From the Classroom to the Bench,and Back	単	2017年4月	第1回日本DCD学会学術集会（神戸）	大会長講演
14.DAMP (Deficits in Attention and Motor Perception) 症候群 再考と再興	単	2017年3月	日本ADHD学会 第8回総会（横浜）	教育講演

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1．学会ゲストスピーカー				
～ADHDと発達性協調運動障害（DCD）～				
15.不器用な脳？～身体性から考える神経発達障害～	単	2016年12月	日本教育心理学会（茨木）	2016年度公開シンポジウム「発達障がいにどう向き合うか―特別な配慮を必要とする児童・生徒の現状と学校適応―」シンポジスト
16.かしこい身体、じょうぶな頭～身体性からみた子どもの脳とこころの発達～	単	2016年10月	第12回日本子ども学会学術集会（神戸）	大会長講演
17.小児科医にこそ知ってほしい身体性からみた神経発達障害～発達性協調運動障害について～	単	2016年7月	第49回日本小児科学会兵庫県地方会（神戸）	第40回吉馴学術記念講演会　特別講演
18.ぶきっちょな子どもたち ～発達性協調運動障害の気づきからアセスメント、そして支援へ	単	2016年2月	日本小児神経学会（富山）	第10回プライマリケア医のための 子どもの心の診療セミナー
19.協調から見た神経発達障害へのアプローチ	単	2015年6月	第49回日本作業療法学会（神戸）	ナイトセミナー「子どもの不器用さを考える～発達性協調運動障害（DCD）を理解し、支援につなげるために～」特別講演
2．学会発表				
1.The Discrepancy between Medical Progress and Insurance Underwriting: Challenges Facing HIV-Positive Individuals in Japan's Commercial Insurance Market.	共	2026年11月（採択）	The 33rd International Congress of Actuaries (ICA2026)	Kobuki F, Nakai A.
2.Gross motor interventions improve coordination, visual perception and mental health in children with traits of neurodevelopmental disorders	共	2026年7月（採択）	16th International Conference on Developmental Coordination Disorder (DCD-16)	Otsubo T, Fukunishi T, Toza K, Nakai A
3.A prospective study on the impact of Developmental Coordination Disorder traits on emotional/ behavioral problems during the transition from preschool to school age		2026年7月（採択）	16th International Conference on Developmental Coordination Disorder (DCD-16)	Fujisawa S, Saito A, Sugawara M, Nakai A
4.トランスジェンダー当事者が民間保険に加入する際のアンダーライティングに		2026年1月	第19回日本性差医学・医療学会学術集会	小吹文紀、小吹文貴、中井昭夫

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
おける今日的な医学的課題の検討				
5.不登校生徒のレジリエンスを高める支援とは（第３報） －教育支援センターで生徒を支援していた職員のインタビューからー	共	2025年12月	日本学校心理学会第27回大阪大会	野津 喬、中井昭夫
6.不登校生徒のレジリエンスを高める支援とは（第２報）ー生徒のインタビューからー	共	2025年11月	第21回日本子ども学会学術集会	野津 喬、中井 昭夫
7.不登校生徒のレジリエンスを高める支援とは（第１報）ー文献レビューからー	共	2025年11月	第21回日本子ども学会学術集会	野津 喬、中井 昭夫
8.発達性協調運動症の評価におけるOral Diadochokinesisの有用性～Oral Diadochokinesis検査とDCDQ日本語版の関連～	共	2025年10月	一般社団法人 日本LD学会第34回大会	小畠 理恵子、小澤 由嗣、堀江 真由美、飯田 忠行、中井 昭夫
9.神経発達症の特性のある子どもに対する運動介入が協調・視知覚に与える影響について	共	2025年5月	第8回日本DCD学会学術集会	大坪 孝洋・福西 知史・當座 邦恵・中井 昭夫 若手優秀演題受賞
10.「協調の困難さがある子どもに対する作業遂行への介入が子ども、養育者に及ぼす影響」	共	2025年3月	第13回日本発達系作業療法学会学術大会	勝原勇希、中井昭夫
11.The association between Small for Gestational Age and Developmental Coordination Disorders: Result from Japan Birth Cohort Consortium.	共	2025年2月	The 35th Annual Scientific Meeting of the Japan Epidemiological Association	Iwata H, Tojo M, Tsuchiya KJ, Ishikuro M, Chen G, Suyama S, Nakai A, Tamura N, Yoshikawa T, Yamagata T, Nishimura T, Yamaguchi T, Yamazaki K, Obara T, Ishitsuka K, Morisaki N, Kuriyama S, Kishi R
12.発達性協調運動障害を有する児における運動イメージ能力－2種類の運動イメージ課題を用いた検証－	共	2024年11月	第11回日本小児理学療法学会学術大会	橋添健也，中井昭夫，信迫悟志
13.三角形が描けない子ども」は睡眠の改善により 「三角形が描ける」ようになるのか？	共	2024年9月	第20回日本子ども学会学術集会	鈴木麻里恵、中井昭夫
14.Relationship between Subjective and Objective Assessment of Developmental Coordinative	共	2024年9月	WORLD PHYSIOTHERAPY ASIA WESTERN PACIFIC REGION CONGRESS 2024	Takigawa R, Yokoyama M, Yoneyama Y, YoshimotoT, Kamitani S, Matsunaga A, Nakai A

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
Motor Disorder in Japanese Children with Autism Spectrum Disorder				
15. The Impact of CO-OP approach on Coordination, QOL, and Parenting Behavior in Japanese Children with Neurodevelopmental disorders.	共	2024年6月	DCD15-IMDRC6, a joint conference of the International Motor Development Research Consortium and the International Society of Research and Advocacy for Development Coordination Disorder, Ghent, Belgium.	Katsuhara Y, Nakai A
16. Online 3-Minute Calisthenics improve Coordination, Core Symptoms, Emotion, and Adaptive Behavior in Children with Neurodevelopmental Disorder Traits.	共	2024年6月	DCD15-IMDRC6, a joint conference of the International Motor Development Research Consortium and the International Society of Research and Advocacy for Development Coordination Disorder, Ghent, Belgium.	Okugawa S, Nakai A
17. The Relationship between Motor Skills, Occupational Performance and Mental Health in Japanese Children with Neurodevelopmental Disorders.	共	2024年6月	DCD15-IMDRC6, a joint conference of the International Motor Development Research Consortium and the International Society of Research and Advocacy for Development Coordination Disorder, Ghent, Belgium.	Yasunaga M, Miyaguchi H, Ishizuk Ci, Kita Y, Nakai A
18. The effect of group occupational therapy for ADL in Clumsy Children	共	2024年6月	DCD15-IMDRC6, a joint conference of the International	Higashionna T, Cho K, Nakai A, Iwanaga R

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
with Neurodevelopmental Disorders: A Pilot Study			Motor Development Research Consortium and the International Society of Research and Advocacy for Development Coordination Disorder, Ghent, Belgium.	
19.Association between Developmental Coordination Disorder Traits, Autism Spectrum Disorder, and Emotional/ Behavioral Problems among Preschool Children	共	2024年6月	DCD15-IMDRC6, a joint conference of the International Motor Development Research Consortium and the International Society of Research and Advocacy for Development Coordination Disorder, Ghent, Belgium.	Fujisawa S, Saito A, Nakai A
20.small-for-gestational-age（SGA）と就学前の協調運動の問題との関連	共	2024年3月7日	第94回日本衛生学会学術総会	東條真希・岩田啓芳・山口健史・田村菜穂美・土屋賢治・須山聡・小原拓・石塚 一枝・西村倫子・石黒真美・山縣豊樹・中井昭夫・小林澄貴・栗山進一・岸玲子
21.協調運動の困難さがある神経発達症児の日常生活活動に対する集団作 業療法の効果に関する予備的研究	共	2023年11月12日	第57回日本作業療法学会	東恩納拓也、趙 吉春、中井昭夫、岩永竜一郎
22.日本人自閉スペクトラム症児における発達性協調運動症の併存状況及び DCDQ と M-ABC2 の関連について	共	2023年10月21日	第10回日本小児理学療法学会学術大会	米山優里花、横山美佐子、瀧川涼太、神谷俊介、中井昭夫
23.Can Deep Generative Models explain brain function in people with Developmental Dyslexia?	共	2023年3月1日~2日	KRIS2023（第1回高専研究国際シンポジウム ）	Ogawa H, Ogoshi S, Ogoshi Y, Nakai Excellent Presentation Award受賞
24.The Discrepancy between Medical Progress and Insurance Underwriting:	共	2023年採択	The 33rd International Congress of Actuaries (ICA2026)	Kobuki F, Nakai A.

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
Challenges Facing HIV-Positive Individuals in Japan's Commercial Insurance Market.				
25.ラジオ体操が神経発達障害特性のある子どもの協調および中核症状，情緒，適応行動に与える影響	共	2022年9月	第56回日本作業療法学会	奥川純子、中井昭夫
26.ラジオ体操がDCD特性のある子どもの協調および中核症状、情緒、適応行動に与える影響	共	2022年4月	第5回日本DCD学会学術集会	奥川純子、中井昭夫
27.不器用さのある学童に対する学校における理学療法士の介入の効果検証に関する研究	共	2021年11月	第8回日本小児理学療法学会学術大会	玉井駿也、中井昭夫
28.神経発達症リスク早期発見のための検査開発～7～10歳における協調運動項目の基準関連 妥当性の予備的調査～	共	2021年10月	第38回日本感覚統合学会研究大会	米田直人、鴨川 拳、川中瑞帆、中井昭夫、岩永竜一郎
29.神経発達症に対する３次元歩行分析のアプローチ ー 特にDCD特性との関連からー	共	2021年10月	第126回 日本小児精神神経学会	越知信彦、伊藤祐史、伊藤 忠、中井昭夫
30.児童発達支援事業所に通う幼児における手洗いの特徴	共	2021年10月	第55回日本作業療法学会	梅野裕理、立山清美、大歳太郎、中井昭夫
31.Diffusional kurtosis imaging study of childhood epilepsy with motor coordination problems.	共	2021年9月	第54回日本てんかん学会	Ito J, Kamei A, Araya N, Akasaka M, Mori F, Ito K, Fujiwara E, Kubo C, Takeishi S, Sasaki M,Nakai A, Oyama K.
32.年長児における平仮名・片仮名視写能力に影響する発達特性の検討ー文字別における書字判読性の関連についてー	共	2021年4月	第4回日本DCD学会学術集会	片岡新、信迫悟志、中井昭夫
33.描画課題における適応動作の予備的検討	共	2021年4月	第4回日本DCD学会学術集会	三好智子、長岡雅美、綿引勝美、上田憲嗣、中井昭夫
34.聴覚障害児におけるリズム能力とバランス能力の特性	共	2021年4月	第4回日本DCD学会学術集会	長岡雅美、三好智子、綿引勝美、上田憲嗣、中井昭夫
35.運動の不器用さを有する児に対する閾値下振動触覚ノ イズ刺激による即時効果の検証	共	2019年11月	第６回日本小児理学療法学会学術大会（博多）	信迫 悟志、大住 倫弘、松尾 篤、古川 恵美、森岡 周、中井 昭夫
36.運動の不器用さのある神経発達症児に対する小集団作業療法	共	2019年9月	第53回日本作業療法学会	東恩納拓也、徳永瑛子、日高欣哉 、中井昭夫、岩永竜一郎

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
の効果				
37.不器用さを有する年長児に対するCO-OPを用いた介入の有効性についてのパイロットスタディ	共	2019年9月	第53回日本作業療法学会	安永正則、宮口英樹、石附智奈美、北洋輔、中井昭夫
38.Differences in fine motor performance between first and second trials in children with autism spectrum disorder and attention deficit/ hyperactivity disorder.	共	2019年6月	13th International Conference on Developmental Coordination Disorder (DCD-13) Jyvaskyla, Finland	Higashionna T, Tokunaga A, Hidaka K, Nakai A, Iwanaga R, Tanaka G
39.Impacts of DCD and AD/HD traits on Handwriting Skills in the Japanese Children with Neurodevelopmental Disorders.	共	2019年6月	13th International Conference on Developmental Coordination Disorder (DCD-13) Jyvaskyla, Finland	Aoki Y, Arimitsu K, Nakai A
40.学童期の神経発達障害におけるM-ABC2を用いた協調の評価	共	2019年5月	第61回日本小児神経学会	中村由紀子，河野千佳，大澤麻記，杉浦信子，小沢愉理，小沢浩，中井昭夫，北洋輔
41.発達性協調運動障害を併存する発達性読み書き障害の臨床特性	共	2019年5月	第61回日本小児神経学会	岡牧郎 ，中井昭夫，諸岡輝子，花房香，津島靖子，花岡義行，秋山麻里，小林勝弘
42.発達性協調運動障害の可能性を有する児の手の器用さに対する 振動触覚ノイズ装置の即時効果	共	2019年4月	第３回日本DCD学会学術集会	信迫悟志、大住倫弘、松尾　篤、古川恵美、中井昭夫、森岡　周
43.不登校の要因としての小児睡眠障害	共	2018年9月	第16回県立病院学会分科会	豊浦麻記子、中井昭夫、豊田有子、小西行郎、三池輝久、菊池　清 （優秀論文奨励賞）
44.不器用さを有する年長児に対する課題指向型アプローチの有効性についてのパイロットスタディ	共	2018年9月	第52回日本作業療法学会（名古屋）	安永正則、 中井昭夫、北　洋輔、 石附智奈美、宮口英樹
45.年長児における協調運動と作業遂行の関連 ―M-ABC2とAMPSを用いて―	共	2018年9月	第52回日本作業療法学会（名古屋）	池田 知美、伊藤 祐子、石橋 裕 、中井 昭夫
46.身体的不器用さを有する発達障害児に対する投動作の介入 効果について1 ―小集団SSTにおける運動ゲームを通じたマナー・ルール学習―	共	2018年9月	日本特殊教育学会 第56回大会（大阪）	島田 博祐、綿引 清勝、 澤江 幸則、中井 昭夫
47.身体的不器用さを有	共	2018年9月	日本特殊教育学会	島田 博祐、綿引 清勝、 澤江 幸則、中井 昭夫

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
する発達障害児に対する投動作の介入 効果について2 課題指向型アプローチにおける介入効果の分析から			第56回大会（大阪）	
48.小児概日リズム睡眠障害に対する治療効果判定のためのバイオマーカーの探索	共	2018年5月	第60回日本小児神経学会（幕張）	豊浦麻記子、豊田有子、中井昭夫、三池輝久、小西行郎、菊池清、田島世貴、船曳康子、海老瀬速雄、米山敏広、青木幹雄、鍋島陽一
49.新生児、乳児期の睡眠障害は発達障害の有効な予測因子	共	2018年5月	第60回日本小児神経学会（幕張）	三池輝久、小西行郎、豊浦麻紀子、中井昭夫、田島世貴
50.不器用児に対する小集団作業療法の効果に関する予備的研究	共	2018年4月	第2回　日本DCD学会　学術集会（弘前）	東恩納拓也、徳永瑛子、日髙欣哉、中井昭夫、岩永竜一郎
51.困り感を有する高い知能のある人の協調運動特性	共	2018年4月	第２回日本DCD学会　学術集会（弘前）	片桐 正敏、長瀬 桃果、中井 昭夫
52.不登校の要因としての小児睡眠障害	共	2018年4月	第121回日本小児科学会学術集会（博多）	豊浦麻記子、中井昭夫、豊田有子、小西行郎、三池輝久、菊池　清
３．総説				
1.小児神経発達障害における睡眠障害の治療の実際 －自閉症スペクトラム障害とメラトニンについて－	単	2020年	Progress in Medicine 40:403-407.2020	中井昭夫
2.小児神経発達障害と睡眠との関連	単	2020年	Progress in Medicine 40: 281-286, 2020.	中井昭夫
3.協調からみた神経発達障害	単	2017年	日本小児科学会雑誌　121:817-825. 2017	中井昭夫 ＊日本小児精神神経学会推薦総説
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.NHK きょうの健康	単	2026年3月アンコール放送	NHK　Eテレ	見過ごされがちな発達障害「動きがぎこちない 発達性協調運動症（DCD）」
2.見過ごされがちな発達障害「動きがぎこちない 発達性協調運動症（DCD）」	単	2026年3月	NHK	Eテレ　きょうの健康　アンコール放送 2026年3月24日、26日、31日　（予定）
3.日本教育新聞	共	2025年4月7	日本教育新聞社	特別支援 教職 話せる場面、徐々に広げては　武庫川女子大学が「場面緘黙」主題にシンポ
4.NHK　きょうの健康	単	2025年3月	NHK	見過ごされがちな発達障害　動きがぎこちない発達性協調運動症
5.NHKテキスト　きょうの健康	単	2025年2月	NHK出版	見過ごされがちな発達障害　動きがぎこちない発達性協調運動症 444:58-61.2025
6.楽しく食べるための健康と安全　乳幼児の心の健康と食の関係	単	2024年5月8日	いただきますごちそうさま　株式会社メイト	中井昭夫
7.神戸新聞「生きヘタ？」ニュース	単	2024年5月	神戸新聞	発達性協調運動障害について小児科医で武庫川女子大教授の中井昭夫さんに聞きました
8.ココロとカラダはつながっている 子どものSOS処方箋	単	2024年5月	園児とママの情報誌　あんふぁん	https://enfant.living.jp/upbringing/tokusyu/1067344/
9.「小学保健ニュー	単	2023年10月	少年写真新聞社	連載　DCD(発達性協調運動障害）の子どもたち

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
ス」		28日		最終回　DCDの子どもの理解とサポートについて
10.医療健康「発達性協調運動障害（DCD）とは？」	単	2023年10月18日	NHK	NHKラジオ「NHKジャーナル」 聴き逃し配信「らじる★らじる」 https://www.nhk.or.jp/radio/ondemand/detail.html?p=0045_01
11.「小学保健ニュース」	単	2023年9月28日	少年写真新聞社	連載　DCD(発達性協調運動障害）の子どもたち 第２回　DCDの子どもの学校生活における困難と二次障害について
12.ハートネット　ブログ　「DCD　見えているのに理解されにくい発達障害」	単	2023年9月22日	NHK	https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/124/ https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/125/
13.字が汚い、縄跳びできない「不器用」な子…実はDCD（発達性協調運動障害）かも　周囲の理解と支援が必要です	単	2023年9月14日	東京新聞「東京すくすく」	https://sukusuku.tokyo-np.co.jp/hoiku/74341/
14.発達性協調運動障害　下　医師でも低い認知度	単	2023年9月12日	中日新聞	
15.発達性協調運動障害　上「字なんか100回練習しても、うまくなりませんよ」に衝撃　＜発達性協調運動障害（ＤＣＤ）＞	単	2023年9月5日	中日新聞	
16.「小学保健ニュース」	単	2023年8月28日	少年写真新聞社	連載　DCD(発達性協調運動障害）の子どもたち 第1回　DCD(発達性協調運動障害）とは？
17.「newsランナー」きょうの聞きたい	単	2023年7月14日	関西テレビ	https://www.youtube.com/watch?v=uyvDGsnWils
18.給食、あえて対面に戻さない学校も　コロナで見つけた時間の使い方	単	2023年6月2日	朝日新聞　デジタル	https://digital.asahi.com/articles/ASR5055PQR5SUTIL02D.html?ptoken=01H1WFQ7WGZ795PJGZFR47EKEQ
19.＜コロナ禍その後５＞給食の時間 「黙食は不要」　対応探る		2023年5月5日	中日新聞	https://www.chunichi.co.jp/article/683041
20.チャイルドヘルス		2023年	診断と治療社	チャイルドヘルス2023年、Vol.26、No.5の特集「DCD（発達性協調運動障害）とは？～「不器用」な子どもの理解と支援～」を企画、複数の論文を執筆
21.新型コロナくらし情報　コロナ下の給食　「楽しい学校」取り戻せるか　黙食緩和、自治体で分かれる対応	単	2022年12月20日	毎日新聞	文部科学省による給食における黙食緩和を受け、専門家の立場からコメント https://mainichi.jp/articles/20221220/ddl/k27/040/288000c
22.黙食緩和　悩む教育現場　消えぬ不安　など	単	2022年12月	共同通信	文部科学省による給食における黙食緩和を受け、専門家の立場からコメント 12/15　神奈川新聞、岩手日報、福島民報　茨城新聞　南日本新聞　宮崎日日新聞　沖縄タイムス 12/16　北國新聞 12/19　埼玉新聞　神戸新聞 12/21　西日本新聞 12/21　産経新聞
23.【給食での黙食】悩	単	2022年10月	テレビ愛知	学校給食の黙食について専門的立場からコメント

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
む学校の本音 「本当はワイワイ楽しい時間になってほしい」		28日	ニュース番組「5時スタ」【トコトン聞いてみた】	http://news.tv-aichi.co.jp/single.php?id=218 https://www.youtube.com/watch?v=PIUFya6ORrQ
24.ちゃんと知りたいDCDのこと！ ～不器用な子どもの理解とサポート～」		2022年8月	合同出版　子どものこころやからだの発達を支援する　連続セミナー2022夏	
25.【医師監修】こんな症状が見られたら要注意！　子どものストレスサイン	単	2022年6月14日公開	学研「こそだてまっぷ」	https://kosodatemap.gakken.jp/life/health/17913/
26.不器用はDCDが原因？学校でのサポート方法も満載『イラストでわかる DCDの子どものサポートガイド 不器用さのある子の「できた！」が増える134のヒントと45の知識』編著者中井昭夫さんインタビューも	単	2022年4月16日公開	LITALICO発達ナビ	https://h-navi.jp/column/article/35028680
27.NHK Eテレ「すくすく子育て」		2022年3月26日	NHK	「わが家のルール・決まりごと」 https://www.nhk.or.jp/sukusuku/index.html
28.「専門医がお答えします！気になる症状のQ&A」	単	2021年11月	社会保険出版社	四季のけんこう「冬のけんこう」p.19
29.男女共同参画推進室・女性活躍総合研究所NewsLetter	単	2021年10月	武庫川学院 男女共同参画推進室・女性活躍総合研究所	中井昭夫 TREND「WITHコロナ／ニューノーマル時代を生き抜く」 https://www.mukogawa-u.ac.jp/~gsankaku/publication/pdf/news_letter_13.pdf
30.福井大学子どものこころの発達研究センター設立10周年記念誌	単	2021年9月	福井大学子どものこころの発達研究センター	中井昭夫「福井は私の一部、私の誇り」
31.月刊 発達教育	単	2021年	発達協会	中井昭夫　特集 「神経発達障害のある子どもの睡眠の問題の理解と対応」 40：4-11.2021
32.「不器用さ、発達障害かも　脳機能に起因も　怒らず適切な支援を　熊本市で講演会」		2020年3月6日	熊本日日新聞	第67回熊本小児保健研究会でのDCDに関する講演内容 定員100名のところ、申込みが殺到し、最終的に400名の参加者 https://this.kiji.is/608554963985007713?c=92619697908483575 その他以下、全国版でのNEWSにも掲載された。 Yahoo NEWS（2020年3月6日） https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200306-00000009-kumanichi-l43 ORICON NEWS（2020年3月6日） https://www.oricon.co.jp/article/1100948/ goo NEWS（2020年3月6日） https://news.goo.ne.jp/article/kumanichi/region/kumanichi-1377721.html
33.学院創立80周年記念事業　公募型採択事業　Light It Up Blue MUKOJO !～武庫女を青く照らそう！～	共	2020年	臨床教育学研究 26：53-65.2020	中井昭夫、長井志江
34.日本子ども学会創設者　小林登先生を悼	単	2020年	日本子ども学会雑誌「チャイルドサ	中井昭夫

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
んで			イエンス」19:8.2020	
35.NHK Eテレ「すくすく子育て」		2019年11月2日	NHK	「子どもの発達が気になったら」 https://www.nhk.or.jp/sukusuku/p2019/794.html 本放送は、NHK「特集：発達障害って何だろう」のプログラムの一環である。 https://www.nhk.or.jp/kenko/special/hattatsu/sp_1.html
36.不器用のすゝめ	共	2019年11月		鈴鹿高等学校放送部制作 第66回NHK杯 全国高校放送コンテスト（テレビドキュメント部門） 三重県大会で奨励賞を受賞
37.小西行郎先生との思い出	単	2019年	日本赤ちゃん学会雑誌「ベビーサイエンス」19：26-27.2019	中井昭夫
38.中井昭夫、加藤光広、山本　仁 「そうだ！海外へ行こう～海外留学のススメ～」	共	2019年	脳と発達　51:114-45.2019.	日本小児神経学会　国際化推進委員会主催セミナーの報告
39.NHK ハートネット「発達性協調運動障害の子どもたち　必要な療育とは？」		2018年10月18日	NHK	ハートネット　HP記事 https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/125/
40.NHK ハートネット「極端に不器用な子どもは発達障害の可能性も！？ 発達性協調運動障害とは」		2018年10月18	NHK	ハートネット　HP記事 https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/124/
41.ラジオNIKKEI　第1「未来の学校 ラジオ分室」	単	2018年9月4日	ラジオNIKKEI	「夏休み明けの生活リズムの整え方～小児科医が診た不登校」 http://www.radionikkei.jp/mirainogakko/ http://www.kodomo-zaidan.net/event/113
42.「運動の不器用さを抱える子どもたち～発達性協調運動障害（DCD）という視点からの理解と支援～」	単	2018年	こころの科学 202:9-14.2018.	論説
43.「子どもの睡眠障害の包括的時間治療、そして先制医療、次世代のための眠育」	単	2018年	児童心理 1055:118-125.2018	連載「子どもの睡眠の問題への理解と対応」第４回
44.「睡眠障害と神経発達障害との関連について」	単	2018年	児童心理 1053:117-123.2018	連載「子どもの睡眠の問題への理解と対応」第３回
45.「不登校の影に潜む子どもの睡眠障害」	単	2018年	児童心理 1052:119-125.2018	連載「子どもの睡眠の問題への理解と対応」第２回
46.「ヒトはなぜ眠るのか？睡眠の重要性について」	単	2017年	児童心理 1050:117-123.2017	連載「子どもの睡眠の問題への理解と対応」第１回
６．研究費の取得状況				
1.学齢期のDCDに対する口腔機能支援－口腔感覚異常が咀嚼運動発達に及ぼす影響－	共	2025年~2028年		基盤研究（Ｃ）分担研究者　（研究代表者　内海 明美）
2.口腔交互反復運動を用いた発達性協調運動障害のスクリーニングと評価における有用性		2022年～2024年		基盤研究(C)　22K02774　分担研究者（研究代表者 小畠理恵子）
3.顕在化しにくい発達		2017年～		厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者政策総

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
６．研究費の取得状況				
障害の特性を早期に抽出するアセスメントツールの開発および普及に関する研究		2018年		合研究 研究分担者（研究代表者：稲垣真澄）
4.発達性協調運動障害の病態モデルの構築とニューロリハビリテーションの開発		2016年～2019年		基盤研究(C) 16K09981　研究代表者
5.顕在化しにくい発達障害の特性を早期に抽出するアセスメントツールの開発および普及に関する研究		2016年～2017年		厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者政策総合研究 研究分担者（研究代表者：稲垣真澄）
6.高校・大学生の発達障害における身体機能障害の評価・支援法の開発とデータベース構築		2013年～2016年		基盤研究(C) 25381301　研究代表者
7.胎児期からのハイリスク児の臨床観察による発達障害理解と包括的診断法構築		2012年～2017年		新学術領域研究(研究領域提案型)　24119004 構成論的発達科学－胎児からの発達原理の解明に基づく発達障害のシステム的理解 連携研究者（研究代表者：國吉康夫）
8.「発達障害児・者のニーズやライフステージに応じたトランジション・リエゾン支援のための医療・福祉分野等の人材育成に関する調査」		2012年		平成24年度 厚生労働省 障害者総合福祉推進事業 「医療や福祉分野の発達障害支援者の人材育成体制の調査について」 分担研究者（研究代表者：瀧澤治美）
9.就学前後の児童における発達障害の有病率とその発達的変化：地域ベースの横断的および縦断的研究		2011年～2013年		厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者対策総合研究 研究分担者（研究代表者：神尾陽子）
10.発達障害児の認知・脳機能の解明と教育・医療連携支援システムの開発		2009年～2011年		基盤研究(B) 21330151　研究分担者（研究代表者：三橋美典）
11.１歳からの広汎性発達障害の出現とその発達的変化：地域ベースの横断的および縦断的研究		2008年～2010年		厚生労働科学研究費補助金「こころの健康科学研究事業」 分担研究者（研究代表者：神尾陽子）
12.児童虐待防止をめざした青年期の親性育成に関する心理・生理・内分泌・脳科学的研究		2008年～2010年		基盤研究(C)20592576　研究分担者（研究代表者：佐々木綾子）
13.不器用さ・発達性協調運動障害のバイオメカニクス・ニューロイメージング研究		2008年～2010年		基盤研究(C) 20591219　研究代表者
14.現場・地域と協働した「子どものこころ」の成長・発達に関する脳科学と教育の融合研究体制の構築と還元のあり方に		2007年		平成19年度 文部科学省「子どものこころの成長に関する基盤整備事業」 分担研究者（研究代表者：眞弓光文）

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
6．研究費の取得状況				
ついての検討				
15.非侵襲的脳機能画像法を用いた社会能力発達過程の解明-複数個体間相互作用の定量とその神経基盤の解析		2005年～2009年		基盤研究(S) 17100003　研究分担者（研究代表者：定藤 規弘）
16.母性を育てる学習プログラムの開発と評価-心理・生理・内分泌・脳科学による母性性育成過程の解明		2005年～2007年		基盤研究(C) 17592240　研究分担者（研究代表者：佐々木綾子）
17.軽度発達障害児を認知・神経心理学的手法から判別し、特性に応じた教育支援を実施する		2005年～2007年		基盤研究(C) 17530472　研究分担者（研究代表者：三橋美典）
18.正常および病的新生児における成長ホルモン分泌動態とStateの日内変動との関係		1994年～1995年		一般研究(C)　06670777 研究代表者　中井 昭夫(1994)　小西 行郎(1995)
19.有機酸代謝異常症の急性期における病態生理とその治療に関する研究		1993年～1994年		奨励研究(A) 05770517　研究代表者
20.安定同位体を用いた核磁気共鳴法の先天代謝異常症の診断・病態解析への応用		1992年～1992年		奨励研究(A)　(04770587)　研究代表者

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2024年～現在	Guest Editor, Children, Special Issue "Current Updates and Future Perspectives of Developmental Coordination Disorders in Children: From Classroom to Lab, and Back"
2.2024年～現在	日本学術会議 心理学・教育学委員会「不登校現象と学校づくり分科会」委員
3.2023年10月～現在	第26-27期 日本学術会議連携会員
4.2023年	Guest Editor, Brain Sciences, Special Issue New Insights in Developmental Coordination Disorder.
5.2022年～現在	Associate Editor, Pediatric Psychology (specialty section of Frontiers in Psychology)
6.2018年～現在	日本臨床発達心理士会　兵庫支部　副支部長
7.2018年～2024年	一般社団法人 笑壺研（ETUBOLAB）理事
8.2017年4月	第1回日本DCD学会学術集会　大会長
9.2017年～2020年	日本小児科学会 英文誌 Pediatric International Editorial Board (Developmental-Behavioral Pediatrics担当)
10.2015年10月	第12回日本子ども学会学術集会　大会長
11.2013年～2017年	日本赤ちゃん学会雑誌「ベビーサイエンス」編集委員長
12.2010年～現在	特定非営利活動（NPO）法人AOZORA福井　理事
13.2010年~2022 2025~現在	日本赤ちゃん学会 理事
14.2009年～2017年	日本小児神経学会　学会誌「脳と発達」編集委員
15.2009年～2011年	科学技術振興機構（JST）/社会技術研究開発センター(RISTEX)「脳科学と社会」　JCS（Japan Children's Study）委員会　委員
16.2005年～2007年	科学技術振興機構（JST）/社会技術研究開発センター(RISTEX)「脳科学と社会」　オブザーバー アジア・オセアニア小児神経学会　終身会員 国際DCD研究・支援学会（ISRA-DCD：International Society for Research and Advocacy in Developmental Coordination Disorder)　日本代表committee 日本小児精神神経学会　代議員 日本小児神経学会　国際化推進委員 日本小児神経学会　長期計画委員

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
６．研究費の取得状況	
	日本小児神経学会　評議員 日本子ども学会　理事 日本DCD学会 理事 日本発達神経科学学会 理事